

第 7 回茅ヶ崎市総合計画策定会議幹事会 (10/17 開催) での主な意見

議題 1

- 目標年次が第 2 編で初めて出てくる形でよいか。前段の財政推計等は 10 年間の推計になっていることから、説明が必要ではないか。
- 現在の記載内容では、実施計画まで 10 年間の計画期間と見えてしまうのではないか。
- 財政見通しと財政方針が記載されているが、「財政方針」についてはありきたり過ぎの内容ではないか。もう少しインパクトのある言葉を使用しないと、総合計画の実行性という部分が見えないのではないか。
- 財政見通しについて、歳入歳出ともに記載されている以外の部分もあるが、今回の計画での見せ方はこの形でいくのか。
- 市全体の予算のボリューム感を見せる必要もあるのではないか。
- 現行の基本構想では全体の収支不足を示している。今回の財政見通しの書きぶりは中途半端ではないか。しっかり示した方がよいと思う。この部分については再度しっかりと検討して頂きたい。
- 「人件費の抑制が求められている」とあるが、求められている理由は何か。県内で突出しているなど、理由があるのであれば書く必要があるのではないか。そもそも表現がこの書き方で良いか再度検討する必要があるのでは。
- 公債費についても、「厳しい」と記載されているが、何がどう厳しいのか説明する必要があるのではないか。
- 将来都市像に「時には支え合い、時には高め合い」とあるが、「時には」で良いのか。
- 個別計画との連動については総合計画と実施計画のどちらで記載する予定か。
- 実施計画の策定は、令和 2 年 6 月議会が終了してから作業を開始する予定なのか。今年度のように 7 月に予算要求となると早い段階から実施計画の説明をして頂きたい。

議題 2

- 評価が 1 年間の帯で記載されているが、表記の仕方は変更した方が良いのではないか。1 年間かけて評価する様に見えてしまう。

- 今後厳しい財政状況の中で、各部局が知恵を絞りながら行政運営しなければならないが、そうした際には各部局における予算の裁量を今よりも持てるような仕組みを検討してもらいたい。
- 現行の計画における予算要求に慣れてしまっている部分もあることから、次の実施計画における予算要求の形について早めに示して頂きたい。
- 計画期間が延びたことにより、計画外事業が増えることが想定されている。こうした部分にはしっかりと対応するということは明記した方が良いと思う。